

# interfm

The268th Programming Deliberation Committee

## 第 268 回番組審議会 議事録

開催日 2023 年 5 月 23 日 (火)

出席者：湯川れい子委員長、亀渕昭信委員、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員

欠席者：安藤美冬委員

1、

議題（審議番組）：黒田卓也のムーンフライト

放送日時：2023年4月11日（火）21:00 - 21:30

DJs：黒田卓也

### 会社からの説明

ジャズ・トランペッターの黒田卓也が、ナイスな音楽と濃厚なトークで送る30分。時にトランペットを奏で、実験的試みも…。月にも昇るような気持ちで、聴く方のナイト・フライトのお供をいたします。

### 委員からの意見・感想

#### 審議委員A

「ムーンフライト」という番組名がシンプルで覚えやすく、かつ、番組の世界感をよく表していると思いました。

黒田卓也さんのトークと選曲が大人の魅力に溢れており、この時間帯の気分とマッチしています。スタートして、ちょうど2年ということで、リスナーの立場で安心感を持って聞くことができ、今後長寿番組になることを期待しています。

そもそも、黒田さんがニューヨーク在住ということで、インターナショナルな話題が多く、地域の小ネタも含めて楽しめ、メインのコーナー展開では「Remember April」しぼりでの選曲とそのバックグラウンドの説明。

しかも、その前には黒田さん自身のオリジナル演奏を加えるという一連の流れが、丁寧な構成で、かつ、心地よく感じました。

冒頭に謳う番組紹介フレーズ「Jazz を中心に、さまざまな曲を紹介」。

ここまで Jazz 濃度が高いと、異なるジャンルの曲とハレーションが起きないかな、と心配しておりましたが、最新の放送回（5/16）でのラストソング、ノラ・ジョーンズは自然にマッチしていましたので、今後のバリエーションにも期待しています。

コロナ明けで、世界中のリアルライブが復活し、黒田さんが飛び回るほど「音楽+旅ネタ」が加わって、面白い展開になりそうだな、と感じました。

リスナーとの双方向性（ライブ連動、番組へのリクエストなど）を如何に考えるのか？  
黒田さんの移動とともに、番組公式 SNS がリアルタイム連携するなどの施策に期待。

審議委員 B

欠席

審議委員 C

初めて、interfm っぽい理想の番組だと思う。

古き良きラジオをそのままやっている感じがするので、そのままでもいいのではと言うのが感想。

その上でどう発展させるのかと思った時に interfm のインターってインターナショナルのインターって意味もあると思うので、今回はナイロビだからアフリカのナイロビから放送している番組があるとか、色んな所から放送しているみたいなコンセプトにしてしまった方が面白いのではないかなと思いました。

それをどうビジネスに繋げるかですが、その番組自体の放送は日本人向けにやっているけども、例えば何かキャラクター化をすれば、その音声の何かが付随するものはその国でも聞けるようにすれば、例えばケニアならケニアとかで放送している番組が実はその国で人気の番組になったりすると、例えば日本のスポンサーはこのインターネットフィルムにスポンサーしているんだけど、それはあくまで日本国内のためのスポンサーじゃなくてアフリカに進出したい企業が結構効果的になってるんだみたいな事を例えばリデザインすればとか。

イギリスのプレミアリーグってやっぱりサムソンとあってエンブレムが入っているので、実はイギリス人に向けているというよりは、プレミアリーグってアフリカで絶対的に見られているので、むしろアフリカではサムソンが一番人気なモバイルメーカーになっているとかがある。

interfm が世界の窓になって、日本企業が interfm にスポンサーするのは日本企業のスポンサー活動の背景日本国内でのシェアを上げたいためという以上に、スポンサーの魅力みたいなものの窓になっているみたいなビジネスモデルが出来たら面白いのではないかなと感じました。

審議委員 D

本当にあっという間の 30 分。

結論から言ったらとてもいい番組で何年間のうちにいくつか指定していい番組どれですかとなったら、この番組が上がると思うぐらいに凄いいラジオを聴いているなって感じがした。

黒田さんのお喋りもいいし、ベテランだからどう扱うか知っているし、語りかけるような語り口もいいし、海外でウィスバーガーのブルックリンでやってるってこともあるかもしれないけど、ブルックリンのお天気のお話とか、今日は暖かくなって、みんな裸だし、とてもニューヨークらしくて、そんな雰囲気も伝わってくるととても素敵な番組。

こういう番組で 1 時間ぐらいあったらいいなと思った。

あっという間に終わったのが残念で、構成もとてもよくて、1 曲だけのアルバムバイエプリルって曲をテーマにして、彼が聴いている曲だから、本当に思い入れがあるんだと思うし、久しぶりに音楽番組を聞いた感じ。

1 曲目の紹介のところで、さあ楽しく参りましょう、妙にレトロなフレーズが出てきたり、本当に関西の人だなと思ったりなんかして、非常に聞きやすい面白い番組でした。

問題は、本当に尺数もったいないなって思ったくらい。

ご自身の演奏も良かったけども、曲目・演奏について久しぶりにマイルス・デイビス聞いたりとか、クリフォード・ブラウン聞いたりとか、とてもいい時間でした。

審議委員 E

私自身もものすごく楽しめた。

久しぶりに本当に、心から楽しんで、この審議会のためではなく、車に積んで、あと 2 回ぐらい聞き直しました。

今バリバリの現役で、しかもブルックリンに実際に住んでいらして、選曲が素晴らしかった。黒田さん自身の、毎日体験していらっしゃる事の中に、まだまだ多分山ほど、いろんな材料がたくさんあるんだろうとありながら、しかもしっかりと吟味をして、この 30 分という番組を充実したものにさせていただいて、もったいないなあと思いました。

番組の尺についてもし贅沢を言わせて頂けるのであれば、1 時間だったらいいなと、心から思いました。

すごく親しみの持てる関西弁もあって、曲の一種の洗練されすぎているかもしれない高級感とは違った、砕けたおしゃべりっていうのが、またそのバランスがものすごく面白くて、とっても地に足の付いた、でも中身の濃い、もっともっと聴きたい、何回も聴きたい、もっと別のテーマでも聴きたい、色んなお料理ができる方だなというふうに思いながら聞きました。

ぜひ長続きのする、まだあと 10 年は絶対続けてほしいと思うような、interfm というステーションの核になる、簡単に真似のできない、重厚にも軽くも、どちらからも楽しむことができる、私は素晴らしい番組だったなと思って聞かせていただきました。

また次回も聴きたいと思っております。

毎週火曜日の 9 時からということであれば、是非チャンネルを合わせても聞きたいなと思いつつ聞いた番組でした。

#### —会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上